

# 平成24年度第1回臨時会

## 八王子市教育委員会会議録

日	時	平成24年4月1日(日)	午前9時
場	所	八王子市役所 7階	702会議室

# 第 1 回臨時会議事日程

1 日 時 平成 2 4 年 4 月 1 日 ( 日 ) 午前 9 時

2 場 所 八王子市役所 7 階 7 0 2 会議室

3 会議に付すべき事件

八王子市教育委員会教育長の任命について

---

八王子市教育委員会

出席委員 ( 5 名 )

委 員 長	( 1 番 )	小田原 榮
委 員	( 2 番 )	和 田 孝
委 員	( 3 番 )	川 上 剋 美
委 員	( 4 番 )	金 山 滋 美
教 育 長	( 5 番 )	坂 倉 仁

教育委員会事務局

教 育 長 ( 再 掲 )	坂 倉 仁
学 校 教 育 部 長	野 村 みゆき
学 校 教 育 部 指 導 担 当 部 長	相 原 雄 三
教 育 総 務 課 長	布 袋 孝 一
学 校 教 育 部 主 幹 ( 支 援 教 育 担 当 )	穴 井 由 美 子
学 校 教 育 部 主 幹 ( 企 画 調 整 担 当 )	平 塚 裕 之
施 設 整 備 課 長	加 藤 雅 己
学 事 課 長	海 野 千 細
学 校 教 育 部 主 幹 ( 保 健 給 食 担 当 )	山 野 井 寛 之
指 導 課 長	廣 瀬 和 宏

指導課統括指導主事 (企画調整担当)	所 夏 目
指導課統括指導主事 (教育施策担当)	山 下 久 也
指導課統括指導主事 (教育センター担当)	山 本 武
指導課前任指導主事	木 下 雅 雄
生涯学習スポーツ部長	榎 本 茂 保
生涯学習スポーツ部参事 (図書館担当)	穂 坂 敏 明
生涯学習スポーツ部 国体推進室長	富貴澤 繁 幸
生涯学習総務課長	宮 木 高 一
生涯学習スポーツ部主幹 (図書館担当)	中 村 照 雄
生涯学習スポーツ部主幹 (図書館担当)	遠 藤 辰 雄
生涯学習スポーツ部主幹 (図書館担当)	田 中 明 美
生涯学習スポーツ部主幹 (こども科学館担当)	牛 山 清 志
スポーツ振興課長	小 山 等
生涯学習スポーツ部主幹 (スポーツ施設担当)	橋 本 徹
国体推進室主幹	高 橋 利 光
国体推進室主幹	岩 田 充
学習支援課長	新 井 雅 人
文化財課長	田 島 巨 樹

事務局職員出席者

教育総務課主査	遠 藤 徹 也
教育総務課主任	久 保 陽 子
教育総務課主事	上 村 剛

【午前9時00分開会】

小田原委員長 大変お待たせいたしました。

本日の委員の出席は5名全員でありますので、本日の委員会は有効に成立いたしました。

本日は日曜日にもかかわらず、臨時の教育委員会ということでお集まりいただきましてありがとうございます。また、こういう機会を設けていただくにあたっては、事務局の皆さんにもお手数をおかけしました。

それではこれより平成24年度第1回臨時会を開会いたします。

今年度も電力不足が心配されている中、本市では節電の取り組みを引き続き行っております。照明の一部を消灯させていただいておりますので、御理解御協力をお願い申し上げます。

なお、本年2月末で退任いたしました、石川和昭委員の後任の委員といたしまして、坂倉仁氏が、過日、市議会の同意を得て、市長から教育委員の任命を受けましたので、御報告申し上げます。任期は平成24年4月1日から、前任者の残任期間であります、平成24年9月30日までで、議席番号については「八王子市教育委員会会議規則」第5条第2項により、前任者の議席番号になりますので、5番、となります。

それでは日程に入ります前に、本日の会員録署名員の指名をいたします。

本日の会員録署名員は4番、金山滋美委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

小田原委員長 それでは日程に従いまして進行いたします。

八王子市教育委員会教育長の任命について、を議題にいたします。

本件につきましては「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第16条第2項に、「教育長は当該教育委員会の委員である者のうちから教育委員会が任命する」と規定されております。

先ほど御説明いたしましたように、5番、坂倉仁委員につきましては、石川和昭委員の後任として、教育委員に任命されることに先の市議会で同意が得られ、市長から任命を受けております。

つきましては、新たに教育長を任命するにつきましては、5番、坂倉仁委員を選任したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

小田原委員長 全員異議ないものと認めます。

よって教育長に5番、坂倉仁委員を、本日付で任命することに決定いたしました。

なお任期は「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第16条第3項の規定により、委員としての任期中在任するものとなっておりますので、平成24年4月1日から平成24年9月30日まででございます。

それでは坂倉教育長より御挨拶をお願いいたします。

坂倉教育長 ただ今、委員長から御紹介がありましたが、去る3月28日の市議会本会議におきまして、石森市長の御推挙を賜り、議員各位の御賛同も得て、教育委員に就任することとなりました。

また本日、先輩教育委員の方々の御支持を得まして、教育長に就任することになりました。実に多くの方々からの信任と期待で、身が引き締まると同時に、身震いするような気持ちでございます。

私はある人に「すべからく、教育に携わる者には哲学が必要である。何故ならば、人に哲学がなければ、人はその人間を信頼しない。そして多くの人の信頼がなければ改革は断行できない」と言われたことがあります。なかなか手厳しい言葉でございまして、もとより浅学非才の身、哲学というほどのものはございませんが、就任にあたり、想いの一端を述べます。

一つは時代を担う世代への対処、すなわち青少年の健全育成でございます。これについては、他の誰でもない“彼ら”“彼女ら”の視点に立って施策を判断していきたいです。それは一人ひとりの生きる力を育成すること、それに尽きるとしておりますので、すべての施策に対してそういう視点を持って臨んでいく所存です。

もう一つは、生涯学習についてです。東日本大震災以来「絆」という言葉が頻繁に出てきておりますけれど、人々の多くは、「経済的繁栄」すなわち物の充実もさることながら、やはり「心の充足」を強く求めているのだと思います。そういう中で、自己実現といいますが、人々が常に自分を高めたいと思う気持ちに応えるには、皆が学び続けられる、生涯学習の「場」と「機会」の整備を行うこと、これに尽きるとしております。

また併せて、生涯学習に対する啓発を、決して強制するのではなく、人々が学び続ける方向に、自然に導くことが大事であると考えています。

以上の様な想いをもち、市議会においても、また、この定例会の中でも、皆さま方と真摯な議論ができればいいと思っております。

その際ですが、教育の施策が花を開いて身を結ぶには、おそらく10年、20年という、長いスパンが必要で、性急に、1、2年で結果を求めるのではなく、ぜひ長い目で見ていただければ幸いです。

教育委員会制度についても少し触れたいと思います。今申し上げた様に、教育の施策に時間がかかる中で、現在の政治情勢を見ると、どうしても結果を早急に求める風潮がございます。もちろんスピード感は大事ですが、施策の大元には、やはりしっかりした考え方が必要です。教育委員会制度は、戦前の教育に対する反省から、戦後導入されましたが、それを有効に活かしていくことが、大事だと思っております。

幸いなことに本市の教育委員会は、非常に健全な形で多くの考え方の闊達な意見が交わされる環境にありますので、これからも施策決定にあたっては、教育委員会の内部でしっかりと議論を重ねていくことが重要だと思います。

一方で個別の事務事業の執行には、石森市長の信任を受けて就任しました、教育委員である私が、教育長として責任をもってやっていきます。施策の論議については、この場で真摯に議論していきたいと思っておりますし、決定したことについては極力実現に向けて進めていきたいと思っておりますので、今後とも教育委員各位には御協力願いたいと思っておりますし、事務局の皆の協力も仰ぎたいところでございます。

昨日までは、学校教育部長という立場で、どちらかという、事務局の方を見ていれば良かったのですが、これからは学校現場の視点、それに先ほど申し上げました、生涯学習の視点も大事にしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

小田原委員長 どうもありがとうございました。

今、新教育長の御挨拶と御決意を伺いましたが、本日は平成24年度の第1回の臨時会でもございますので、新教育長のお話を伺って感じたこと、或いはこれまでの教育委員としての活動を振り返って、今年度はこうしたい、という思い等がございましたら、委員の皆様からお話しをうかがいたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

小田原委員長 では、川上委員からよろしいですか。

川上委員 私も、もう6年半、教育委員をさせていただいておりますが、教育というのは、今教育長がおっしゃったように、本当に時間のかかるものです。

けれども、些細なこと、小さなことは、その瞬間々に、結果が出てくるものでもあります。その結果にきちんと気が付く、そしてそれを喜びとするのは、教育現場にある人

間の一番大事なところですよ。それは感性のもので、感性はすぐに作ってできるものではないかもしれないけれど、それを心がけることによって、心が動く、ということですから、それが一番大事だと思っています。

私は「素敵な」という言葉を一番大事にしています。「素敵な」には、色々な意味が含まれていると思います。「美しさ」「正しさ」「良さ」なども、もちろん入っているでしょうし、八王子の子ども達には、そういうものを常に求める人間になってほしいと思います。もちろん、年上の人間がそういう姿勢でいなければ、当然下にも伝わりませんので、私も死ぬまでそうありたいと思っています。子ども達の生き生きとした顔が、いつも見せてもらえる八王子になってほしいです。教育委員会も含めて、教育に携わる人は、常にそれを感じて動ける人であってほしいと思います。

少し漠然としていますけれど、一番大事なことだと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小田原委員長 和田委員はいかがでしょう。

和田委員 新しい年度になり、新教育長、新しい事務局の皆さんと、今年度も初日から力を合わせて、八王子の教育のために力を合わせていきたいと思っています。

先ほど新教育長から、「教育には哲学が必要である」というお話がありました。また、行政施策の実行には時間がかかる、というお話もありました。

この教育委員会の役割というのは、八王子の市内にいる児童・生徒にとって、これが良いと思う施策を、日々検討し、実行していくことだと思っています。確かに時間はかかるけれども、子供たちは日々その教育を受ける現場にいることを意識しないとイケないし、掲げたものだけ見て物を言っていたのでは、実際の行政の効果とか、実行力というのはないと思っています。教育委員会として、掲げたものはきちんと学校に定着させ、それを形にして、子供たちの日々の教育に活かしていく、そういうところまで見届けないと、本来の行政の役割は果たせないと思います。

新年度になり、人は変わりましたが、行政の継続性は大事にしながら、また、新しい教育長の手腕を期待して、ぜひ教育長の方からも、積極的に発言をいただきながら、議論できればと思います。私も、これから思っていることを色々と申し上げていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします

小田原委員長 金山委員、どうぞ。

金山委員 新教育長、御就任おめでとうございます。

この一ヶ月は教育長不在という、あってはならない事態でしたので、4月1日付で新体制がスタートしたことを、とても嬉しく思っています。

今、教育長がおっしゃった内容は、本当にその通りだと思います。

私がいつも思っているのは、教育は、10年、20年先を見ることでもあるけれど、今の人間が生きていく中で、人生前半のセーフティーネットでもある、ということです。

P T Aとして、ひとつの学校を見るとき、また、教育委員として、八王子市全体の学校を見るとき、どの子ども取りこぼしをしたくない、そういう思いを持ってやってきました。それがとても難しいことは、よく解っていますけれど、そういう意識を持って取り組んでいかないと、本当に一人ひとりにまで支援が届かないのではないかと、というのがいつも考えていることです。

教育長に、立場が変わったので考え方も変えなければいけない、だから、これからは現場を向いてやっていく、とおっしゃっていただいたことは、とても嬉しく思いました。

やはり、子どもと日々向き合っている学校の先生方、校長先生方の後方支援をきちんとできる教育委員会でありたいと思いますので、今年1年、またよろしく願いいたします。

小田原委員長 坂倉教育長のお話しを受けて、教育委員の皆さんそれぞれの想いを伺ったわけですが、他に付け加えることはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

小田原委員長 通常の流れでいきますと、新教育長の御挨拶をいただいて、今日の臨時会は終わり、という流れですが、せっかく日曜日にお集まりいただいたわけですから、ただ儀礼的な流れで終わるのはいかなものか、という想いがありました。

坂倉教育長は、今日、新教育長としてこういう立場に立たれて、日頃の想いに加えて、時代の要請の中での教育委員会や教育長のあり方は、こうなのだとお話しされました。私たち教育委員や、事務局の皆もそれを受けて、また新しい教育委員会の時代を開いていきたいという想いがありましたので、皆さんのお話を伺ったわけです。

子供たちは日々学校に通っていて、小学生は6年、中学生も3年経てば卒業してしまうわけですから、卒業までにひとつの「業」や「技」を身に付けて出発できるように、学校生活を「実のあるもの」にしていかなければならない、ということです。

教育改革が、日本だけではなく、世界的に言われるようになっていきます。とりわけ最

近は、「教育」が「政策」に位置付けられているわけですから、そういう中で教育をどう進めていくか、特に行政としてどうするか、というのは、やはり課題になるわけですし、教育委員会の在り方も、常に問われてくるだろうと思います。

幸いにも、八王子市の教育委員会は決して形だけのものではなく、在る以上はその役割をきちんと担っていきこう、という想いでこれまでやってきています。新教育長の先ほどの想いが実行できるような議論をこの場で重ね、そして実施については事務局にも協力をお願いしたいと思います。

その他に何か付け加えることや、こういうことを考えてほしい、ということはございますか。金山委員はいががですが。

金山委員 私もまだ就任して短い期間なのですが、八王子には、今、検討しなければいけないことがいくつかあると思います。

例えば、高尾山学園に関することです。ここで意見交換をしたらいいのでは、と言いながら、なかなか時間が取れなかったので、ぜひそういう機会を設けていただくと嬉しいです。

小田原委員長 今、高尾山の話が出ましたが、他にも幾つかあるだろうと思います。

教育長には、ぜひ、そういう話題を出し合える、定例会の進行を考えていただきたいと思います。

坂倉教育長 事務局とも相談いたします。

小田原委員長 和田委員、どうぞ。

和田委員 私も教育委員になって4年目になりますが、以前から多くの校長先生方とお付き合いがあります。八王子市に来て、八王子市の政策を推進している私に言わせれば、皆さん心ある校長先生方だと思っていますが、その校長先生方でも、これだけ多くの数の学校を、まとめきれないという状況があるのです。

校長先生方は、自分の学校の中では、積極的に色々な取り組みをしているのですが、先ほども言ったように、八王子市は学校数も多いし、一部には腰の重い校長先生もいて、なかなかひとつの形にならない、ということを随分訴えられています。

それに色々な政策に取り組んでも、その後に、事務局からのバックアップがないので、制度やシステムを作った後に、もう少し教育委員会から支援をしてもらえないかということ、或いは、自分が八王子市内の学校のリーダーになって頑張りたいのだけれど、それには、やはりリーダーをやって良かった、そう自分も周りも思える支援をしてほしい

というお話も随分伺いました。

それから、他の地区から来た校長先生方が、口々に指摘する点がふたつあります。

ひとつは「八王子市の学校は、他と比べて二十年ぐらい遅れているのでは」ということです。実は先日も、4月に八王子市に異動して来た教員の何人から話を聞いたのですが、その中に「学校に行ってみたら、汚かった」と言った先生がいたのです。校内の物が片づけられていないし、ゴミも山積していて、そのことに対して、何か無頓着になっている。学校の中が整理整頓されていなければ、子供の心も荒れるだろう、そういうことを言うわけです。しかも、それを事務の方に話してもなかなか動こうとしないし、管理職も「副校長先生に頼めばいいか」という感じで、非常にびっくりした、というのです。管理職も、外部から来た当初は、八王子市の学校の問題点がよく見えていたのに、いざ中に入ってそれに慣れてしまうと、「まあ、これでいいか」と、なってしまうのでしょうか。

行政施策として取り組まなければならないことは様々あって、それを一生懸命推進している校長先生方を後押ししながら、新しく他の地区から入って来た人も一緒になって、学校全体を活性化していく取り組みをしていかないと、学校が汚いだけでは済まなくて、子供の学力も向上しないし、先生方の士気も上がらないと思うのです。

もうひとつは、教育委員会と学校、或いは学校長との間に距離感がある、と指摘されました。施策に一生懸命取り組んでも、後押しがないし、仲間も増えない、校長先生方がそう思っているのであれば、それを受け止めて、共に推進していくのが教育委員会の役目であろうと思います。校長会との話し合いがあったり、なかったりと、中途半端な形の年もありましたし、やはり、お互いの話をじっくり聴く時間を持たないと、一緒に力を合わせてやっていこうという気持ちにはならないし、距離感もなかなか縮まらないと思います。

今、教育委員会の中では、「協働」という言葉が使われています。文字通り、一緒に働く、という意味になるわけですが、やはり何かを成し遂げるには、行政だけとか、学校現場だけではなくて、一緒に力を合わせた時に、初めて行政施策が子供たちのために形になっていくのではないのでしょうか。

これからは、教育委員会と学校が一緒になって、施策に取り組む体制作りを進めていけたらと思います。それが、どう形になっていくのかはわかりませんが、学校に、新しい、さわやかな風を吹かせる様なことをすれば、その中でチャンスも生まれてくるので

はないでしょうか。

校長先生方には、ぜひそういう機会を活かしてほしいですし、私達もそういう努力をしていきたいと思っています。

小田原委員長 川上委員、どうぞ。

川上委員 今和田委員がおっしゃった、「学校が汚い」ということは、私も何かの折に、お話したことがありました。

でも、今回学校訪問させていただいた学校の中には、とても綺麗な学校もありましたので御報告します。すごく古い学校ですが、とても綺麗でした。事務の方が、毎日、近所にあるお花を活けているようで、どなたがお見えになっても、「綺麗ですね」と褒められるそうです。その学校は学校開放もされていますし、それは校長先生お一人だけの力ではないでしょう。そういう綺麗な学校へ毎日登校できる児童や教職員は、皆が穏やかな気持ちになるでしょう。人は綺麗な所に居ると、心も綺麗になるのかもしれない。要するに教育に携わる人には、「教育の本質」というか「教育の基」はどこにあるのか、それを考えられる人であってほしいと思います。

それと、教育委員会と学校の現場のことは、今、和田委員がおっしゃった通りのことを、私も校長先生方からよく伺います。学校と教育委員会が、お互いに向き合えばかりではいけない、常に児童・生徒の方を向いているのが本当で、それが、和田先生のおっしゃったバックアップという言葉に繋がると思います。それに教育委員会内の横の繋がりが足りないと思います。各部署の人たちが、別々に学校に行っているそうですが、それも少し考えれば、もっと合理化できるのではないのでしょうか。

最後ですが、新しく坂倉教育長が就任されたのを機会に、教育長名で発信される研修会や研究会にも、教育委員会のバックアップが必要だと思います。どの施策も、最後はすべて尻すぼみになっている感じがします。次々新しいことをするのはいいですが、前のことはどうなったのか、それについては誰からも回答をいただけていません。「あれはこうこうなって、こうやりました、こう収束しました」と、そういう経過報告を、もう少しきちんと行うべきではありませんか。

ただ新しいものを出すのではなくて、今あるものを、もう1回、整理検討しようと、ここでも何回も言っていると思いますが、今までそれが、きちんとされていませんでした。担当者が変わると、前の施策はなんだか存在感が薄れていくように思います。教育には長い時間がかかります。また、行政も長く継続していかなければならないのに、逆

のことをやっているように、私には見受けられます。それが非常に心配なので、ここで申し上げておきたいと思います。

小田原委員長 各委員から幾つかお話が出ましたが、事務局で「本当はこうです」とか、「自分はこう思っています」と、発言したいと思っている方はいませんか。

ここで話し合った方がいいのは、高尾山学園のことだけではないでしょう。

例えば、これは数年前の教育センターでの話です。大雪が降った時、教育センター北側の塀に残った雪が、なかなか解けなくて固まってしまいそうだった。その時はまだ、館長という制度がなかったの、そこを任されていた方が、スコップを使って、ひとりで作業を始めた。しかし、教育センターには、他にも大勢人がいるのに、一緒になって手伝う人が、たったひとりしかいなかった、そういう話です。

それを見ていた市民の方から、私のところに話が届いたのですが、それを聞いて、これは八王子市の教育の典型ではないか、という感じを受けてしまったのです。それは、教育センターには、校長先生のOBもいれば、行政職も、事務の職員もいるわけですが、そういう人達が、勤務時間外だからとか、それぞれ役割があるからとか、何か理由はあるのかもしれないけれど、手伝わずに担当者に任せきりにしている、というところですよ。

他にも、ゴーヤで緑のカーテンを作ろうとした時、手伝ったのはやはりたったひとりだけだったとか、教育センターの大掃除をしたら、積極的に動くのは半数だけだったとか、そんな話を伺うと、そういうところに象徴される、八王子市の教育の形を、変えていかなければいけない、と感じます。

先ほど、三人の委員から出た話は、ひとつひとつをよく考えて、解決していかななくてはならないでしょう。今は、国も世界も低迷していて、この先どうなるかわからない状況の中で、「次の時代を担う人間の育成」が、我々に課されているわけです。子ども達は、これから生涯にわたって学習していかなければならない時代であり、その中で、学校教育の役割というのは何なのかをきちんと考えて、基本をしっかり作って持っていかなければならない、という感じが非常に強くいたします。そのためには、この教育委員会が形だけにとらわれず、実質的なものに向かって着々と進んでいかなければいけないと思います。教育委員会と教育長と事務局が、それぞれの役割を充分認識して、それを果たしていくという、今日はその出発の確認をさせていただきたいと思いました。

教育長と相談しながら、改めて話し合う時間を設定したいと思いますので、それぞれの課題に対する想いの様なものを、皆さんの中で整理しておいて下さい。

どうぞよろしくお願ひいたします。

本日はお時間をいただいて申しわけなかったのですが、せっかくの機会でしたので、皆さんのお話をうかがったところです。

その他、何か報告等ございませんか。

野村学校教育部長　　ございません。

小田原委員長　　委員の皆さんで何かございませんか。

それでは、本日の臨時会の議事日程は、すべて終了いたしました。これで本臨時会を終了いたします。

冒頭にも申し上げましたが、日曜日にわざわざお集まりいただきまして、本当にありがとうございました。お疲れさまでした。

〔午前9時42分閉会〕